



岡田 聡議員

農業振興策の実施を

米、梨、有機、和牛など 振興に取り組む

(1)米作りビジョン…市場評価の低い県産米に付加価値を付けて評価を高めるには。

(2)梨産業活性化ビジョン…価格低迷で非常に衰退している。「旬の鳥取梨ブランド」を目指すには。

(3)有機特別栽培農産物推進計画…今後ますます食の安全・安心志向が高ま



本町の基幹産業に振興策を

る。技術的支援や面積拡大の施策は。

(4)和牛ビジョン…昨年県内で開かれた全国和牛能力共進会を契機に和牛振興を図っていき、全国に誇れる和子牛、和牛肉の生産県を目指すには。

答 (山口町長)

(1)「大山町水田農業ビジョン」を作成し、自立し持続可能な経営体の育成や、減農薬、有機米など消費者ニーズに即した稲作栽培にも取り組みたい。
(2)「次世代鳥取梨産地育成事業」の予算化や、補助事業に町の上乗せ補助など引き続き安定した営農が出来るような取り組みを行う。
(3)本町ではJAS有機農産物認定団体などが14ある。今後も関係機関と連携し、有利販売できる仕組みづくり等を検討した

い。また、認定団体の増加や、栽培面積の拡大を図って行く。

(4)「優良雌牛導入保留奨励事業」等を引き続き行うと共に、先般立ち上げた西部和牛王国建設委員会を中心に、観光とも結びつけながら和牛産地として県内外にPRして行きたい。

大山地区バス運行の見直しは

現状に即した見直しを続けたい



大山口駅前の乗り継ぎバス

問 大山地区バス運行の大幅改定で便数が減り、米子まで直行であった運行が大山口駅までとなり、バス利用者から大変不便になったと猛反対が起き

た。数カ月後に乗り継ぎ便が設定され、また、乗り継ぎ運賃も10月1日から通し運賃に改定され、当初より改善された。

しかしまだまだ利用者にとって乗り継ぎは大変な不便さがある。

県は、新たな支援制度の検討を行ったようだが、どのような要望を行ったのか。また、住民から要望の多い米子直行便の復活は出来ないか。

答 (山口町長)

確かに、乗継便は直行便と比較し不便な点があるが、直近の乗降調査で広域利用者は1便0・45人と極めて少数である。

利用実態を見ながらコースを把握し、利用者の利便性向上に努め、現状に即したより良い見直しを続けて行きたい。

リーズナブルな公共交通手段を実現できる補助制度を要望して行きたい。